

## 特別養護老人ホーム 皆生みどり苑

## 1 基本方針

- 個人の尊厳を尊重し、安心安全な生活が送れるよう支援する。
- 利用者一人ひとりの生活リズムに合わせた個別ケアを推進し、その人らしさを大切に生活を提供する。
- 施設機能を活用した地域貢献を行うとともに、積極的な情報公開により透明性を高め信頼される施設を目指す。
- 社会のニーズに応じ、高齢者・障がい者等が共に暮らす共生社会づくりに貢献する。

## 2 今年度重点事業目標

## (1) 重度者ケアの充実

- ア 利用者の状況を会議等で共有。嚥下機能や体力低下等、心身状態について多職種で協議し、個々の状況に応じたケアを提供する。
- イ 最適な福祉器具の選定及びノーリフトケアの更なる促進のため現況を再確認し、褥瘡の防止や利用者・職員双方の負担軽減につなげる。
- ウ 嘱託医と連携を密に取り、経管栄養・たん吸引等の医療サービスを提供する。また、その他関係医療機関とも連携し、医療行為が必要な時には早急に対応し利用者の適切な健康管理に努める。
- エ 生活歴・暮らし方・習慣やこだわりなどを知り「その人らしさ」を理解し、穏やかな最期を迎えられるよう多職種協働で利用者と家族の気持ちに寄り添ったターミナルケアを行う。また、研修を開催し資質向上を図るとともに、偲びのカンファレンスを行い職員の心理的負担の軽減を図る。
- オ 嚥下機能の低下した利用者には嚥下評価を行い、機能に沿った食事を提供する。そして誰でも美味しく食事ができるよう、なめらか食の調理技術を向上させ食事の満足度を向上させる。

## (2) 個別ケアの充実

- ア ICT機器の更なる活用。業務効率化と将来的な科学的介護情報システムへの対応を鑑み、記録のデータ化をより一層推し進める。
- イ 24時間シートは定期的に見直し、利用者の好みや意向に沿ったものとする。データを多職種で活用し、一人ひとりを尊重した介護を実施する。
- ウ 余暇時間の充実。活動内容の拡充を図り、個々の身体状況に応じたプログラムの提供や、地域資源の活用や外出支援への取り組みなど、活動量の向上に取り組む。
- エ 嘱託医と連携を図り入所前に受けていたケアや状態にあった治療等を受けられるように配慮をする。
- オ 血液検査データ、体重表などを有効に活用し低栄養の早期把握とその予防・改善に努める。また、ユニット内で調理員による調理実演を行い食べる楽しみの充実を図る。

## (3) その他

- ア 高稼働率の維持に努める。
  - (ア) 入所年間平均97%以上、短期入所50%以上を確保する。
  - (イ) 欠員期間短縮に努める(10日以内の欠員補充を継続)。
- イ 感染症対策として、関係機関や苑内の各部署と連携を図り、感染拡大防止と早期収束に必要な対応をする。また、感染症発生時には速やかに対策会議を開き、さくら連絡網を用いて全職員に情報発信をする。
- ウ ボランティアの受入れや地域への講師派遣等を通じた積極的な情報発信から、新規の申込者数増加を図る。
- エ 介護ロボットやICT(情報通信技術)等の導入及び活用方法を検討し、働きやすい職場環境の構築に努める。